



外国人の若者ら 真国寺で禅学ぶ

「空」について質問も

国主催の国際交流事業で来日しているラオス、タンザニアの若者18人が、富山市八ヶ山の曹洞宗・真国寺で禅について学んだ。ブツダの教えや禅問答について、永田円了住職からプロジェクトの絵や写真を見ながら英語で説明を受け

た。

本堂に集まった若者らは「日本にはコンビニよりもたくさんお寺がある」と聞くと、驚いた表情を見せた。講演後は「空(emptiness mind)にはどうしたらなるのか」「ブツダは神なのか」など質問が相次いだ。

永田住職は「言葉で語れない禅の世界を、英語で説明するのが難しい。でも、質問がたくさん出るのは興味があるという気持ちの表れで、うれしい」と話した。

若者らは、9月23日に来日。3コースに分かれ、富山県のほか、徳島、岐阜両県など訪れている。

(大坪実佳子)